

## パスタビジネス成功のポイント

一過性で終わらない羊肉人気



# 気になる

## 日本酒

人気のオシャレカップ酒たち、  
コンセプトは「かわいい&本物」とみた。



ひとつ300円前後。こなきじじいや真っ赤なお魚模様が目を引く。「開春」はなんと期間限定ひやおろしだ。福井「福千歳」は山廃純米吟醸で最も高い380円。山廃純米大吟醸もあるらしい。

日本酒のカップ酒が人気だ。カップ酒といえば酔っ払いオヤジがスルメと一緒に電車の中、もしくは路上ですするイメージが強く、正直全く興味のないものだった。

火付け役は「味のマチダヤ」というお酒屋さん、立ち飲み居酒屋の「BUCHI」らしい。マチダヤさんはメディア露出の多い人気のお酒屋さんらしく、日本酒・焼酎の品揃えは目を見張るものがあるし、ワインも注目のものが並んでいる。さらに全国のおもしろ食材やおつまみが豊富に揃っていて、お酒飲みにとっては目くるめくワンダーランドといった風情だ。店内の一角にあるリーチインに色とりどりのラベルで飾られた数十種類のカップ酒が並んでいる。これだこれこれ。いやはやしか

し種類の豊富さもさることながら、驚くのは「早瀬浦」「黒牛」「菊姫」「豊丞」など、とてもカップ酒を作っているとは思えない人気銘柄がズラリ揃っていることだ。こんなの昔からあったかい？いや、この企画で新たに製造したメーカーも多いのだろうなあ。なによりカップデザインがオシャレで気が利いている。これなら女の子にも「かわいい」などと手にとってもらえるだろう。うん、新たに造らなきゃこれは出来ないぞ。さて、この新生カップ酒、どんな風に楽しむのかを実験しに「BUCHI」にいったみた。最初に飲みやすいタイプということで山形「上喜元」を。一人だとカップのまま飲むが、二人だと小ぶりのグラスに注いでくれる。おすすめどおりあっさりして最初に飲むにはピッタリ。次は大阪「秋鹿」。飛び跳ねる鹿のイ

ラストが女の子好み。次はちょっとコクのある岩手「南部美人」。見返り美人のようなイラストは外国人にもウケルだろう。

カップ酒は1合なので、あれこれ飲み比べが出来ないなあと思っていたけど、意外にそうでもないことがわかった。それはスタッフの女性陣が優しくおすすめ上手（知識もちゃんとお持ちのようだし）なのと、立ち飲みとは思えないほどメニューが充実していて美味しいからだ。カップ酒にはスルメだとばかり思っていたが、タイミングよく出てくるヤリイカのセモリナ粉揚げや砂肝のコンフィや上州豚のカツレツや水ナスのサラダが、カップの蓋をカパカパ開けさせる。よく見ると厨房には4人のスタッフが。立ち飲みで表3人中4人というのは結構すごい。モダンできれいな店内と勢いのある料理、感じのいいサービススタッフの相乗効果で、オシャレカップ酒のコンセプト「かわいい&本物」が十分に生かされている。聞けばオーナーは女性だとか。お店経営において、気を抜いていいところと抜いてはいけないところを上手に押さえられるパランス感覚がいい人なんだろうと思う。足腰の弱さと根性のなさで「立ち飲みは頑張って30分」と思っていた私だが、気がついたらなんと4時間も立っていた。翌日筋肉痛だったけど、近所にあつたら毎日覗いてしまいたいそう。